

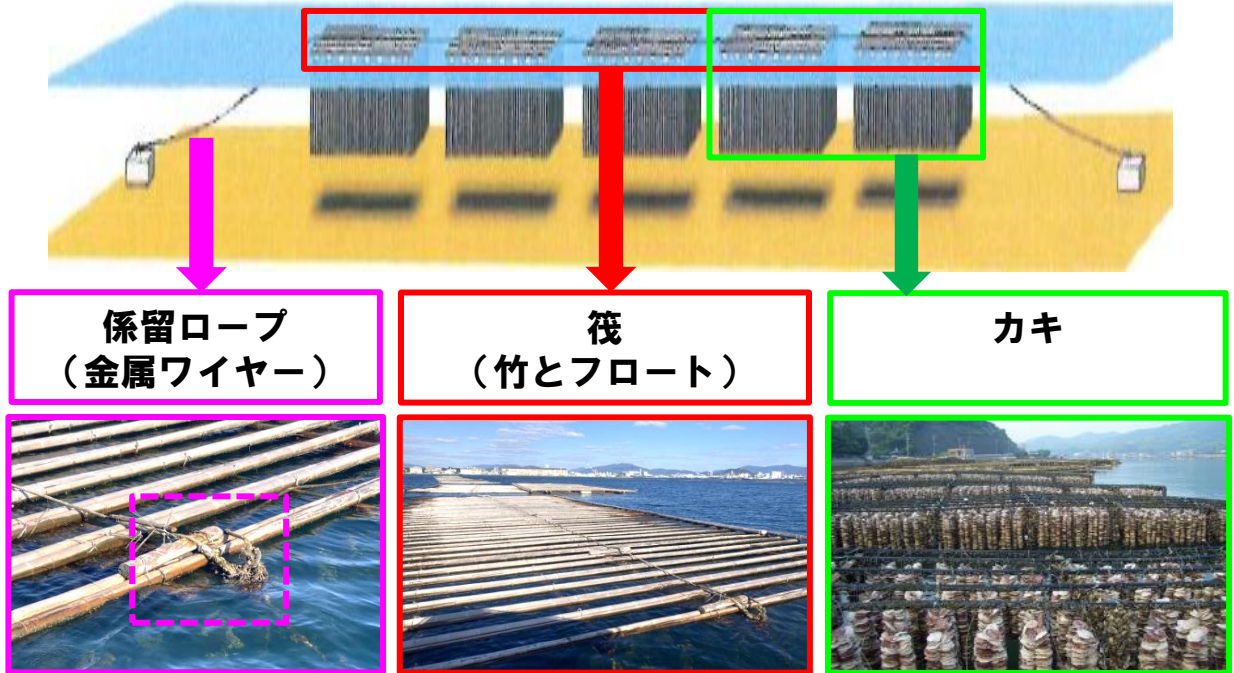
# 新規繊維ロープを活用したカキ筏係留方法の改善 【共同実施機関（広島市漁業協同組合-東レ）】

## 背景

- 広島市カキ養殖業はワイヤーロープ（金属）で筏を係留する方法を採用しているが、ワイヤーロープは錆びることによる破断の恐れがあり、3～4年周期での交換が必要
- 新たな係留ロープとして、東レが新規開発した繊維を用いたロープを適用することにより、耐久性向上によるロープ交換周期の延長と軽量化による作業性向上が期待できる

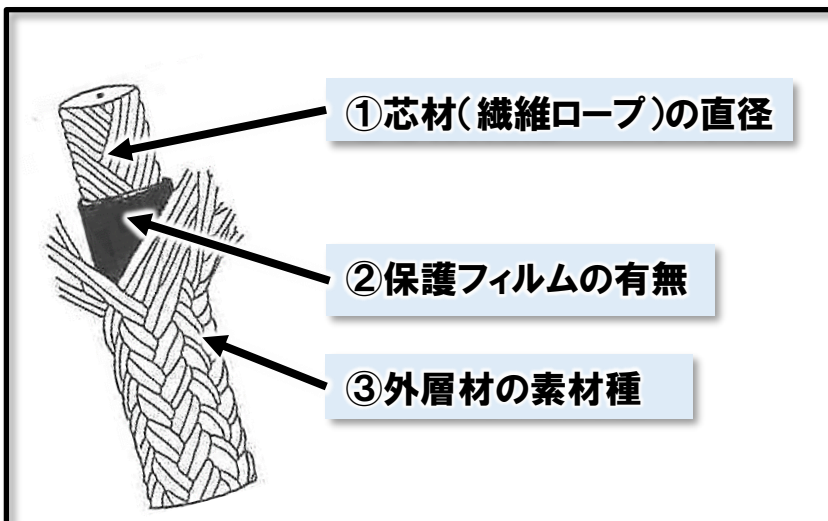
## 実証事業内容

<カキ養殖筏の構造> ※広島市漁業協同組合管理の養殖場にて実証試験予定



新規繊維ロープを設置し実証実験を行い、  
耐久性データ取得とロープ設計の適正化を行う

<新規繊維ロープ設計項目>



<評価項目>

- ・外観評価  
(摩耗)
- ・引張試験  
(残存強度)

耐久性の高い  
繊維ロープ設計へ  
落とし込む